

「第3次健康いるま21計画」に対するご意見と対応

資料 No.	ページ	項目名	ご意見	対応
1	1	1 基本理念	<p>・何が基本理念か分かりにくい。 「～大切です。これが「第3次健康いるま21計画」の基本理念です。 この基本理念は～とともに、～「健康づくりの推進」にも、これに基づいた理念を掲げ、～を推進していきます。」 上記のように理解してよいのでしょうか？</p>	<p>・基本理念の説明を別紙のとおり修正します。</p>
1	1	2 基本方針	<p>3つの基本方針のうち、1番目と2番目の内容が「生活習慣病の予防」で重複しています。「健康寿命の延伸」については、厚生労働省ホームページに「ロコモティブシンドロームや認知機能低下を予防しつつ…」とあります。 重複を避けるためにも、以下のようにしたらどうでしょうか。 ●健康寿命の延伸 (ロコモティブシンドロームや認知機能低下を予防しつつ、) 高齢に伴う機能低下を遅らせる取組により、社会生活を営むための機能を維持することで健康寿命の延伸を目指す。</p>	<p>・「健康寿命の延伸」は、「生活習慣病の予防」と「必要な機能の維持・向上」が二つの柱であると考えています。 「高齢に伴う機能低下を遅らせる取り組み」については、対象分野ごとの取り組みのなかで表現していくこととし、ここでは「高齢に伴う機能低下を遅らせる」ことも含め、「社会生活を営むために必要な機能の維持」とし、原文のままさせていただきます。</p>
1	1	2 基本方針	<p>・「目指します」「図ります」の主語、主体はどう考えればよいでしょうか？</p>	<p>・行政(市)の計画であることから、主語・主体は市となります。</p>
1	1	2 基本方針	<p>基本理念に「健康寿命」を延ばすとあり、それが方針に反映していると理解しました。方針の他の2つは健康寿命を伸ばすための方針であり、基本理念を支えるものです。理念と方針の重複は解消した方が良く、方針は理念実現の為の3つの方針とすべきと思われます。ただし、内容はこれで良いので書き方の問題だけです。</p>	<p>・基本理念の説明を別紙のとおり修正します。</p>

2	1	1 計画の推進	(2) 計画の推進体制の充実 実際には具体的なことにたくさん取り組んでいると思われますので例示としていくつか具体的な取組みを記載したらわかりやすくなると思われます。	・市で策定している他の計画も参考にしたうえで、ここでは具体的な取組みの記載は行なわないことにします。
2	2	2 評価	・年度ごとの評価を「広報いるま」に報告が見られません。市民の改善意識に必要なのではないのでしょうか。	・広報の手段については、市で策定している他の計画との整合を図りつつ対応していきたいと考えています。
3	1	第1節 1 栄養・食生活	(1) 食生活に関する意識の向上 ・前回調査より低下の理由が書いてはありますが、確認したいので前回の設問を知りたいと思います。	・今回の設問にある「自分にとって適切な食事量【エネルギー量(カロリー)】を知っていますか」が、前回の設問には、ありませんでした。
3	1	第1節 1 栄養・食生活	(1) 食生活に関する意識の向上 前回値から大きくポイントが低下しているが、その理由として入間市の1人暮らしの増加など明らかなものがあるか。	・今回の調査では前問の「自分にとって適切な食事の量【エネルギー量(カロリー)】を知っていますか」を意識し、「適切な食事の量を知っていること」と「適切な内容・量をとっていること」を関連付けて回答した人がいたことにより、低下したと考えられます。
3	2	第1節 1 栄養・食生活	(2) 望ましい食生活習慣 ・現状値は78.8%とありますが、P3の①望ましい食生活での数値78.1%及びグラフの数値と異なっているのはどちらが正しいのでしょうか。	・現状値の78.8%は、問16「1日3食食べていますか」に「1. はい」と回答した人の値です。P3の78.1%は問18「あなたは朝食を食べていますか」に「1. 毎日食べている」と回答した人の値です。
3	3~5	第2節(1) ①~③	・分野別の目標と取り組み ①望ましい食生活 ②減塩の実践 ③適正体重の維持 をゴシック体にしたらどうか。 (他の分野も同様)	・全体が整った時点で、より見やすくなるよう調整します。

3	3	第2節 1 栄養・食生活 (1) ①	(図1) 若年層の朝食の摂取率が低い。 これは全国的傾向だが小中学校と協力して、本人と父母に対して健康と朝食の強い相関関係を理解させて、摂取率の向上に努めて欲しい。	・そのとおりだと考えます。摂取率が低い世代への積極的なアプローチをしていきます。
3	4	第2節 1 栄養・食生活 (1) ①	(図2) 主食・主菜・副菜を毎日食べている人の割合 共働きで調理時間が少ない、コンビニの普及などにより1品食が多くなっているように感じる。	・そのような傾向もあると考えられます。購入した食事でも1品料理でも、主食主菜副菜の食材が入っていることで主食主菜副菜がそろっていると、バランスよく食べることを進めていきます。
3	5	第2節 1 栄養・食生活 (1) ③	(図4) 適正体重の維持における「体格指数・(BMI) を用いた判定」について、男性のみの表示理由は	・他の年代・性別と比較して、40代50代男性の肥満の割合が高いため、強調するために表示しています。
3	6~7	第2節 1 栄養・食生活 (2)目標 (3)目標値 (4)目標の実現に向けた主な取組み	・見出しを「栄養・食生活の今後の目標」「栄養・食生活の今後の目標値」「栄養・食生活の今後の目標実現に向けての主な取組み」にしたらどうか。 (他の分野も同様) ※読み手の分かりやすさへの配慮から丁寧な表現が必要ではないか。誰に読んでもらい分かってもらいたい行動してもらいたいかが必要ではないか。	・他市や市の他の計画も同様の表記としていることから、原文のままとさせていただきます。
3	6	第2節 1 栄養・食生活 (3) ①	(3)目標値 ①「バランスのよい食習慣の実践」について「週5日以上副菜を食べる人の割合」で何故5日なのでしょう。	・「食事のバランスを意識して食べる習慣がついた」ことを評価するため、ほとんど毎日食べていると考えられる「週5日以上」を評価基準としました。 なお、「第2次元気な人間 食育推進計画」の評価基準と合わせています。
3	7	第2節 1 栄養・食生活 (3) ③	③「適正体重の維持」における目標値を前回の25%から変えた理由は。	・埼玉県分(平成28年度)30.9%を参考に、達成の実現が可能な値として目標値26.3%を設定しました。

4	1	第1節 4たばこ・アルコール	(1)たばこが健康に及ぼす影響についての認知度 ・COPDの目標値以外は100%になっている理由	・COPD以外の項目は、国の第1次計画に合わせた目標値(100%)です。COPDは、国の2次計画に新たに増えた項目で、やはり国の計画に合わせた80%の目標値に設定しています。
4	1	第1節 4たばこ・アルコール	(1)たばこが健康に及ぼす影響について ・前回値、現状値に比べて目標値が高いが、今後具体的にどのような啓発活動をしていくのか。	・乳幼児健診の喫煙状況を問診で確認した際に、喫煙者が家族にいる場合は、ニコチン依存症の診断テストや禁煙方法等についてのチラシを配布していきます。 その他、健康診断や健康相談時の個別対応、広報(世界禁煙デー5/31)やホームページでの普及啓発を継続していきます。
4	5	第2節 4たばこ・アルコール (3)目標値	①「たばこによる健康被害を減らす」 ・目標値が県と国よりゆるいのは何故ですか。	・指標の『喫煙率の減少』は、国の目標値と一緒です。 『受動喫煙の機会を有する者の減少』の目標値は、国や県と比べる高い値ですが、これは入間市の市民意識調査での結果が国や県より高値であった為です。特に「家庭」は国の3倍も高い値でした。 国は目標を「現状値の半分」としており、それに準じて入間市も現状値の半分の値に目標を設定しました。 <参考>国の現状(H28国民栄養調査)家庭7.7%、職場30.9%、飲食店42.2%
4	5	第2節 4たばこ・アルコール (3)目標値	受動喫煙対策において、飲食店が極端に悪い状況です。国の法律の制定に合わせて具体的な取り組みをお願いします。	・市民に対して、法律の変更点や飲食店での喫煙スペースについての知識をポスター掲示等で普及啓発していきます。

5		5 歯と口腔 の健康	歯について上手く行っていますので現 状の方針の継続をお願いします。	
		身体活動・運 動	※7つの項目のうち、●身体活動・運動 について、詳細は示されていませんが 厚労省の「健康づくりのための身体活 動指針」にある「いつでもどこでもプラ ス10」が参考になるのでは、と思いま す。	・参考にさせていただきます。